

6 生活習慣病、糖尿病、心疾患及び脳血管疾患による死亡者数が、他の地域に比べ、高い状況であり、高血圧性疾患による死亡者数が、他の地域に比べ、低い状況ですが、利用者からの医療面、生活面等のニーズが多いと感じますか。(はい いいえ)

また、そのことが生活訓練内容や訓練方法への影響があれば列挙して下さい。例 健康管理支援、栄養支援、調理訓練等

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②はい 未記入
- ③はい 健康管理支援
- ④はい 未記入
- ⑤はい 未記入
- ⑥はい 糖尿病一歩行訓練、SP訓練等の負荷
高次脳機能障害一歩行、LV、身辺訓練、グループワーク
- ⑦はい 未記入
- ⑧いいえ 未記入
- ⑨いいえ 栄養管理、血糖管理

7 一般病院数、診療所数が、他の地域に比べ、少ない状況ですか、修了後の病院受診等の調整で困難な状況が多いですか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②はい 未記入
- ③はい 未記入
- ④いいえ 未記入
- ⑤いいえ 未記入
- ⑥いいえ 未記入
- ⑦いいえ 未記入
- ⑧いいえ 函館は多いです。
- ⑨いいえ 未記入

8 最低気温が低く、降水日数、降雪日数が、他の地域に比べ、多い状況ですが、訓練内容、訓練中の配慮等、他のセンターと違う面がありますか。

(はい いいえ)

コメント

- ①はい 雪道歩行、足がすくに冷えてしまう方へ配慮（靴用ホッカイロの使用。訓練場所を足場の良い所にする等）。
- ②はい 雪上歩行。
- ③はい 雪上歩行。
- ④はい 未記入
- ⑤はい アイスゾーン等。
- ⑥はい 雪上歩行一道路横断、車音の利用等。夜間雪上歩行一道路横断、車音の利用等、照明等の利用等。
- ⑦はい 未記入
- ⑧はい 雪上歩行がある。
- ⑨はい 雪道歩行訓練の実施。

9 郵便局数が、他の地域に比べ、少ない状況であるが、障害をもつ方々の日常生活ひいては生活訓練内容に影響していますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②いいえ 未記入
- ③いいえ 未記入
- ④いいえ 未記入
- ⑤いいえ 未記入
- ⑥いいえ 未記入
- ⑦いいえ 未記入
- ⑧いいえ 市内において500m内にはほぼ3ヶ所あります。郡部に近い所はほぼないのが数に影響していると考えられます。
- ⑨いいえ 未記入

10 身体障害者相談員数、身体障害者更生援護施設数が、他の地域に比べ、多い状況であるが、センターの活動（支援）への影響がありますか。

(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②いいえ 未記入
- ③いいえ 未記入
- ④はい 未記入
- ⑤はい 未記入
- ⑥いいえ 未記入
- ⑦はい 未記入
- ⑧いいえ 有効に活動されていないと考える。
- ⑨はい 利用者が施設を選べる状況にあるのではないかと考えられます。

1 1 訪問介護員（ホームヘルパー）数が、他の地域に比べ、低い状況ですが、貴地域でホームヘルパーを利用することが、難しい状況が多いですか。

（ はい いいえ ）

また、訓練内容等への影響はありますか。（ はい いいえ ）

コメント

- ①いいえ→いいえ 未記入
- ②いいえ→いいえ 未記入
- ③はい→いいえ 未記入
- ④いいえ→はい 未記入
- ⑤いいえ→いいえ 未記入
- ⑥いいえ→いいえ 未記入
- ⑦いいえ→いいえ 未記入
- ⑧いいえ→いいえ 未記入
- ⑨はい→いいえ あくまで推測です。

1 2 利用交通手段として、大部分（91.2%）か、1種類であり、自家用車が約半数（56.4%）となっています。他の地域に比べて、「徒歩だけ」が10.4%と多くなっています。冬期のことも含め、歩行訓練の特色がありますか。

（ はい いいえ ）

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②はい 未記入
- ③はい 未記入
- ④はい 未記入
- ⑤はい 未記入
- ⑥はい 路面電車のホーム、バス停の検索（季節により異なる。）
- ⑦はい 未記入
- ⑧いいえ 未記入
- ⑨はい 積雪かかなりの期間あるので、雪上歩行訓練が特色。

徒歩以外の移動手段として、訓練するものの多いのは何ですか。また、その訓練上での特色がありますか。（ はい いいえ ）

コメント

- ①はい 市電（電停の位置を線路で確認など。）
- ②いいえ 未記入
- ③はい 市電（路面電車）
- ④はい 未記入
- ⑤はい 未記入
- ⑥いいえ 路面電車、バス、JR。
- ⑦はい 市電。
- ⑧はい 電車乗降はほぼない。バス、市電を利用する。市電乗降が特色。
- ⑨はい 市電を利用している（路面電車）。

- 1 3 歩道の状況、信号機の設置状況、交通量等によって、特に留意している
指導のポイントはありますか。 (はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②はい 未記入
- ③はい 未記入
- ④はい 未記入
- ⑤はい 雪道歩行
- ⑥はい 冬季における道路横断。→信号機が変わっても（音響信号の音も含めて）アイスバーン状になっている際、直に渡れない。
- ⑦いいえ 未記入
- ⑧はい 盲人誘導の信号音は利用しないが雪のため、自身の方向が青くなっても進入車は多くかつ車はすへるので止まれない事を考慮している。
- ⑨はい 初期は区画整理されている地域で実施。慣れてくるにしたがい繁華街で実施。

- 1 4 函館センターの地域特性を考慮した訓練等を実施している場合には、その内容を記入して下さい。

- ①未記入
- ②未記入
- ③未記入
- ④雪道歩行。
- ⑤未記入
- ⑥夜間歩行－照明の利用。
雪上歩行－Low Vision訓練－色光の利用等。
- ⑦未記入
- ⑧未記入
- ⑨随時入所。

地域特性に関するアンケート調査結果（塩原版）

このアンケート調査は、国勢調査に基づいたデータを地域ごとに集計し、比較したものを参考に作成したものです。

- 1 単独世帯、高齢者単身世帯の割合が、他の地域に比べ低い状況ですか、利用者の方の家族支援等は、他の地域に比べ、受けやすい状況だと感じますか。
(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②はい 他地域と比べ核家族化していない地域が入所対象になっており、家族支援は受けやすいと思われる。
- ③いいえ 未記入
- ④未記入 他の地域と比べてもサービスの受けやすさ等、特に変わらないと思います。

- 2 人口流入及び流出比率が、全国平均より低い状況で、同じ地域で生活されている利用者が多いと推察されますが、貴地域での歩行訓練（環境認知）等は、容易であることが多いと感じますか。生活訓練内容への影響があれば列挙して下さい。(ある ない)

事項

- ①ない 未記入
- ②ない 坂道が多い。都市が狭く、車が多く危険。地図を描きにくい地形（道路）である。
- ③ない 毎回の訓練が利用者の自宅付近で行える訳ではないので関係ないと思います。
- ④未記入 未記入

- 3 田の割合が多い状況ですが、そのことが歩行訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

影響している点

- ①いいえ 未記入
- ②未記入 未記入
- ③はい 田がないところを選んで訓練しなければなりません。
- ④いいえ 未記入

- 4 有訴者率は、他の地域に比べ低く、一般病院外来患者数は、他の地域に比べ高い状況ですが、そのことが通院のニーズ等、歩行訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②未記入 病院が塩原地区に少ないということと通院は不便である。
- ③いいえ わかりません。
- ④いいえ ただ近くに総合病院や歯科等がなく、単独で行くにはバス乗り換えやタクシー等を使用しなければならず、不便である。

- 5 生活習慣病、糖尿病、高血圧、心疾患及び脳血管疾患による死亡者数が、全国平均に比べ、高い状況ですが、利用者からの医療面、生活面等のニーズが多いと感じますか。(はい いいえ)

また、そのことが生活訓練内容や訓練方法への影響があれば列挙して下さい。例 健康管理支援、栄養支援、調理訓練等

コメント

- ①はい 未記入
- ②未記入 未記入
- ③いいえ 歩行訓練における運動量を多少考慮しているかもしれません。
- ④いいえ 未記入

- 6 一般病院数、診療所数が、函館に次いで少ない状況ですが、修了後の病院受診等の調整で困難な状況が多いですか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②未記入 未記入
- ③いいえ 未記入
- ④いいえ 未記入

- 7 最低気温が低く、降雪日数が、函館に次いで、多い状況ですが、訓練内容、訓練中の配慮等、他のセンターと違う面がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 降雪時の訓練は危険などを伴うので、降雪時の歩行訓練の必要度に
応じて実施します。千葉県出身でまず降雪時に歩くことがなければ、
降雪時の訓練は実施しません。
- ②未記入 未記入
- ③はい 雪の量が多く、道が歩きづらい場合、訓練が中止になり、訓練時間
が少なくなる傾向があります。
- ④いいえ 降雪がほとんどない地域出身の入所生には雪上の歩行は行わない
(本人の意向を確認)。

- 8 郵便局数が、函館地域に次いで、少ない状況ですが、障害をもつ方々の日常生活においては生活訓練内容に影響していますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 未記入
- ②はい 金銭の自己管理に不自由がある。
- ③はい 未記入
- ④はい 銀行、コンビニ、ATM等が近くにないためバス等を利用して行かなければならず不便である。

- 9 身体障害者相談員数、身体障害者更生援護施設数が、他の地域に比べ、少ない状況ですが、センターの活動(支援)への影響がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 理教以外の進路を検討した時にほとんど施設かない。
- ②いいえ 未記入
- ③いいえ 未記入
- ④いいえ 未記入

- 10 訪問介護員(ホームヘルパー)数が、他の地域に比べ、低い状況ですか、貴地域でホームヘルパーを利用することか、難しい状況が多いですか。(はい いいえ)

また、訓練内容等への影響はありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ→いいえ 未記入
- ②未記入→未記入 未記入
- ③未記入→未記入 分かりません。
- ④いいえ→いいえ 未記入

- 11 利用交通手段として、大部分(86.8%)か、1種類であり、自家用車が約半数(52.9%)となっています。他の地域と比べて、「徒歩だけ」が5.8%と少なく、2種類以上が13.8%と他の地域と比べて多くなっています。冬期のことも含め、歩行訓練の特色がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 東京⇄那須塩原の高速バスが開通し安価のため、利用する人が多く、必要に応じて歩行訓練している。
- ②未記入 未記入
- ③未記入 分かりません。
- ④いいえ センター周辺に歩行訓練に適した地域が少ないため、訓練中期頃から、自動車でお山をおり、訓練を行っている。

交通手段の乗り継ぎなどに指導について、留意している点がありますか？（はい いいえ）

コメント

- ①未記入 未記入
- ②未記入 未記入
- ③未記入 分かりません。
- ④未記入 バス→行き先の確認、バスの本数が少ないため事前に時刻の確認。電車→乗り場の確認等。

徒歩以外の移動手段として、訓練するものの多いのは何ですか。また、その訓練上での特色がありますか。

（はい いいえ）

コメント

- ①未記入 バスの利用が多い。
- ②未記入 未記入
- ③未記入 電車
- ④未記入 バス、電車

1 3 歩道の状況、信号機の設置状況、交通量等によって、特に留意している指導のポイントはありますか。（はい いいえ）

コメント

- ①未記入 未記入
- ②未記入 未記入
- ③はい 整備されている道、区画が少ないため、きちんとそうなっている場所を選び連れて行って訓練しています。
- ④未記入 未記入

1 4 塩原センターの地域特性を考慮した訓練等を実施している場合には、その内容を記入して下さい。

- ①センター周辺では訓練内容が限られるため、ワゴン車を配車し、20 km程度離れた場所（住宅街、商店街）まで移動します。そのため、3時間車続のプログラムを作成する必要があり、他のセンターに比べ歩行の時間をとるのが難しいです。また、繁華街等がないため1日かけて宇都宮等まで訓練に行きます。
- ②未記入
- ③レクリエーションで牧場に行ったりしています。
- ④未記入

地域特性に関するアンケート調査結果（リハ版）

このアンケート調査は、国勢調査に基づいたデータを地域ごとに集計し、比較したものを参考に作成したものです。

- 1 単独世帯の割合が、他の地域に比べ、高い状況ですが、利用者の方の家族支援等は、他の地域に比べ、受けにくい状況たと感じますか。

（ はい いいえ ）

コメント

- ①いいえ 交通の利便性を考えるとリハセンターは有利（しかし、逆に考えると遠方から入所する方もいるのでその面から家族支援は受けにくいかも？）
- ②いいえ 特別感しない。
- ③いいえ 未記入
- ④はい 単身生活者や核家族が増加していて、援助者やキーパーソンがケースによっては不足することが考えられる。

- 2 人口流入及び流出比率が、他の地域に比べ、高い状況で、同じ地域で生活されている利用者が比較的少ないと推察されますが、貴地域での歩行訓練（環境認知）等は、難しい状況が多いと感じますか。生活訓練内容への影響があれば列挙して下さい。（ ある ない ）

事項

- ①ない 未記入
- ②ない 未記入
- ③ある
 - 良い影響 利用者が近所に気づかいをすることが少ないため、OM等に抵抗感が少ない。
 - 悪い影響 利用者が地域生活に必要な地元の人間関係を得られず孤立する。
- ④ある 地域の方々からの援助依頼などが（いわゆる近所づきあいなどで）受けにくいことが考えられる。

3 自然公園面積の割合が、他の地域に比べ、高い状況ですが、利用者が公園等へ散歩に行きたいというニーズは多いと感じますか。

(はい いいえ)

そのことが、歩行訓練内容に影響していますか。(はい いいえ)

影響している点

- ①はい→はい 未記入
- ②はい→はい 健康管理を目的に公園内等を散歩したいというニーズを有している利用者がいて、本人の希望によりセンター近くの公園内の環境認知を実施したことがある。
- ③いいえ→いいえ 未記入
- ④いいえ→はい ニーズが特に多いとは思わないが、近所に公園のある利用者が多いために散歩をしたいというニーズを達成しやすいと考える。

4 田や畑に比べ、宅地が多い状況ですが、そのことが歩行訓練を含む日常生活訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

影響している点

- ①はい 街のいろいろな状況に応じて訓練実施できるというメリットがある。
- ②はい 徒歩 5～10 分で、住宅街での歩行訓練が可能である。また、住宅が多いということは、スーパー等もあるわけで、歩行と日常生活訓練(買い物)を組み合わせた訓練が可能である。
- ③はい 現地歩行時、施設周辺で実施した住宅街歩行などの技術を活用しやすい。
- ④はい 田畑が自宅周辺を囲んでいると移動の安全確保などが難しいこともあると思うが、白杖技術を生かしやすい環境が多いことが考えられる。

5 有訴者率は、全国平均よりも低く、一般病院外来患者数も、福岡地域に次いで低い状況ですが、そのことが通院のニーズ等、歩行訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②いいえ 未記入
- ③いいえ 未記入
- ④いいえ 未記入

- 6 生活習慣病、糖尿病、心疾患及び脳血管疾患による死亡者数が、他の地域に比べ、低い状況ですが、利用者からの医療面、生活面等のニーズは、他の地域に比べ、少ないと感しますか。(はい いいえ)

また、そのことが生活訓練内容や訓練方法への影響があれば列挙して下さい。例 健康管理支援、栄養支援、調理訓練等

コメント

- ①いいえ リハセンター病院を期待して入所してくる利用者も存在。症状が重くてもリハセンター病院で医療面で対応は可能かもしれないが日常生活の面ではまだまだ不十分なためか途中で訓練中断したりする事もあり、訓練進行に影響が出る場合がある。
- ②いいえ 他の地域に比べ低くても医療面、生活面のニーズが少ないとは感じない。個別に訓練内容を計画し支援するものであって、地域差は関係ないと考えるからである。
- ③いいえ 未記入
- ④いいえ 各患者に十分に対応し、地域生活が営めるような全生活的な訓練を実施する必要がある、本人、家族、医療機関、地域の援助者（ヘルパーなど）に丁寧な説明が必要。

- 7 一般病院数、診療所数が、全国平均や他の地域と比べ、多い状況ですか、修了後の病院受診等の調整は、容易に行えますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 医師が動いてくれるわけではない。
- ②はい 修了後の地域生活が大きく変わることは少なく、前医を受診することが多いと思われる。
- ③はい 未記入
- ④はい 未記入

- 8 最高気温、最低気温が、他の地域と比べ、中間値であり、快晴日数が、他の地域と比べ、多い状況ですが、訓練内容、訓練中の配慮等、他のセンターと違う面がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 雪や厳しい寒さがあるだけで必要以上に体力を消耗する。それを考えると適温で晴れが多いというのは、訓練遂行上のメリットが高いと思う。
- ②はい 冬場は比較的晴れる日が多く、天候により訓練内容に影響することが少ない。
- ③はい 荒天時の歩行訓練を実施できない。
- ④はい 外出して行う必要のある訓練（歩行、買い物、機関利用）の進展が計画しやすいのではないかと。夏季の炎天下の訓練は利用者の負担が大きい。

9 郵便局数が、全国平均や他の地域と比べ、多い状況ですが、障害をもつ方々の日常生活ひいては生活訓練内容に影響していますか。

(はい いいえ)

コメント

- ①はい 郵便局を利用する機会は少ないが、近くに郵便局があることは何かと便利。
- ②はい 歩行訓練の目的地として設定することも可能でありATMの操作、訓練等金融機関を利用するという社会生活力を高めるプログラムを実施している。
- ③いいえ 数的なことよりも、各局の局員の取組み方により、利便性は異なる。
- ④いいえ 未記入

10 身体障害者相談員数は、他の地域と比べ少なく、身体障害者更生援護施設数も、塩原地域に次いで少ない状況ですが、センターの活動(支援)への影響がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ 未記入
- ②いいえ 施設は少なくとも有効に利用できる社会資源が多い。
- ③いいえ 当事者が施設利用を検討する際、相談する機会の少ない専門職であると思われる。
- ④いいえ 未記入

11 訪問介護員(ホームヘルパー)数か、他の地域と比べ、多い状況ですか、貴地域でホームヘルパーを利用することが、容易な状況が多いですか。

(はい いいえ)

また、訓練内容等への影響はありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ→はい 未記入
- ②はい→はい 利用者の状況によっては、ホームヘルパーの活用を積極的に進めており、訓練内容もホームヘルパーを活用することを前提とした効果的な訓練が可能である。
- ③はい→はい 協力的なホームヘルパーが確保できる場合、後指導を通し、支援技術を伝達する。また、入所中、ホームヘルパー導入を前提にADLを実施することもある。
- ④はい→はい ヘルパーへの調理や日常訓練について訓練内容の伝達を丁寧に実施する必要がある。

- 1 2 利用交通手段として、大部分（80.0%）が、1種類ですが、複数（2種類以上）が20%と他の地域と比べて多くなっています。また、鉄道・電車の利用が、他の地域と比べて非常に多く（21.5%）、自家用車は少ない（33.3%）状況です。

交通手段の乗り継ぎなどの指導について、留意している点がありますか？（はい いいえ）

コメント

- ①はい 未記入
- ②はい 最近ではインターネットで各交通機関の駅構内図（バリアフリーの状況）等の情報が手に入る。そのため、保有視力を活用できるケースには、事前に情報提供したり、移動しやすいコース設定のための参考にしている。
- ③はい 移動距離の最短コースよりも、移動のべ時間最短コースを設定し、スムーズに能率的に乗り換え等ができるようルートやランドマークを選択する。
- ④はい 未記入

徒歩以外の移動手段として、訓練するものの多いのは何ですか。また、その訓練上での特色がありますか。（はい いいえ）

コメント

- ①はい 電車
- ②いいえ 電車
- ③はい 電車。都市部と郊外では、駅舎内移動・援助依頼の対象や手段が異なる。
- ④はい 電車。安全な構内の移動、援助依頼。

歩行訓練での地域の特色はありますか。（はい いいえ）

コメント

- ①はい 交通の利便性が高い。
- ②未記入 住宅街の歩行、繁華街の歩行、交通機関の利用等で比較的訓練計画を立てやすい。また、交通網が発達しているため、センターと自宅間の訓練も実施できる割合が高いと感じている
- ③はい 担当している地域は都市部に限らないため、本州で想定できるほとんどの歩行環境が存在していると思われる。
- ④いいえ 未記入

- 1 3 歩道の状況、信号機の設置状況、交通量等によって、特に留意している指導のポイントはありますか。 (はい いいえ)

コメント

- ①はい 未記入
- ②いいえ 安全を念頭においているだけで地域特性という点では特にはない。
- ③はい 音的な刺激は適切なレベルを上回っても下回っても定位のさまたげとなることを訓練性によく経験していただく。生育歴の中で音の定位や音量に関係のない遠近の判断が不得意な訓練生の限界をよく理解すること。
- ④はい 聴覚的な手がかりの活用。LV者の目の使い方、見方。

- 1 4 リハセンターの地域特性を考慮した訓練等を実施している場合には、その内容を記入して下さい。

①未記入

- ②繰り返しになるが、交通機関が発達していることもあって、自宅周辺での歩行、家庭訪問し日常生活のアドハイスの実施等が比較的行いやすい状況にあると考える。また、修了後の生活も考え、社会資源、ホームヘルパー等各種サービスの紹介も行いやすく、利用者のニーズに沿った支援が可能である。
- ③1 2に同じ。担当地域は、都市、ベッドタウン、農村などのバリエーションに富み、統計で均一化が図れないと思われる。各地域の歩行条件、地域社会のメンタリティーについて配慮したいと考えている。
- ④調理、日常訓練等では、ヘルパー、デイサービスなど、地域の支援者に十分な情報提供を実施し、障害者支援のネットワークを形成するマネジメントが重要。

地域特性に関するアンケート調査結果（神戸版）

このアンケート調査は、国勢調査に基づいたデータを地域ごとに集計し、比較したものを参考に作成したものです。

- 1 単独世帯の割合が、全国平均よりも低く、反対に高齢者単身世帯の割合は、福岡地域に次いで高い状況ですが、利用者の方の家族支援等は、他の地域に比べ、受けやすい状況だと感じますか。（はい いいえ）

コメント

- ①未記入 この設問に答えられる知識・情報はなし
- ②未記入 都市部ではボランティア団体等も多く、社会資源の活用が行いやすい
- ③未記入 どちらともいえない
- ④未記入 そうともいえない。同居世帯たったとしても、家族員個々の生活が優先する世帯があるから。
- ⑤はい 体調不良等でご家族の支援が必要な時は、円滑な調整が可能
- ⑥いいえ 特に感じていない

- 2 人口流入及び流出比率が、全国平均より低い状況で、同じ地域で生活されている利用者が比較的多いと推察されますか、貴地域での歩行訓練（環境認知）等は、容易であることが多いと感じますか。生活訓練内容への影響があれば列挙して下さい。（ある ない）

事項

- ①未記入 容易であるともないとも感じない
- ②ない
- ③未記入 必ずしも容易とは言えない。地域内在住者と遠隔地転居者（具体的ケース）を比較すれば多少影響があるかもしれないが、一般論として地域全体を見た場合は何とも言えない。
- ④未記入 歩行訓練に従事していないので不明
- ⑤ない よくわからない
- ⑥ない 特に感じていない

- 3 森林面積が多く、自然公園面積の割合が、他の地域に比べ、低い状況ですが、利用者が公園等へ散歩に行きたいというニーズは少ないと感じますか。（はい いいえ）

そのことが、歩行訓練内容に影響していますか。（はい いいえ）

影響している点

- ①少ないとも多いとも感じない、未記入
- ②いいえ→いいえ
- ③どちらとも言えない→いいえ
- ④未記入 訓練に従事していないので不明
- ⑤いいえ→いいえ
- ⑥いいえ→いいえ 特に感じていない

4 宅地に比べ、田の割合が若干多い状況ですが、そのことか歩行訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

影響している点

- ①いいえ
- ②いいえ センター周辺で訓練を行う場合は影響を受けない
- ③いいえ 広範囲な地域全体を一般論で何か言うことは難しい。個々の住宅や生活エリアは都市部や農村それぞれ
- ④未記入
- ⑤いいえ
- ⑥いいえ 特に感じていない

5 有訴者率は、他の地域に比べ高く、一般病院外来患者数は、全国平均レベルですか、そのことが通院のニーズ等、歩行訓練に及ぼす影響がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ
- ②いいえ
- ③いいえ
- ④未記入
- ⑤いいえ
- ⑥いいえ 特に感じていない

6 生活習慣病、糖尿病及び心疾患による死亡者数が、他の地域に比べ、高い状況ですが、利用者からの医療面、生活面等のニーズが多いと感じますか。(はい いいえ)

また、そのことが生活訓練内容や訓練方法への影響があれば列挙して下さい。例 健康管理支援、栄養支援、調理訓練等

コメント

- ①はい 低血糖時対応(ブドウ糖、ジュースの携帯)の確認や訓練中の声かけ(OM)。訓練負荷、継続時間の配慮。一人でH p受診するための現地訓練の設定(OM)。
- ②いいえ
- ③未記入 何とも言えない
- ④未記入
- ⑤はい 栄養支援としてエネルギー調整したものを提供すること以外対応していない
- ⑥はい 健康に関する様々な凶報を提供するよう心がけている

7 一般病院数、診療所数が、全国平均、リハセンターに次いで多い状況ですが、修了後の病院受診等の調整は、容易に行えますか。(はい いいえ)

コメント

- ①未記入 分からない。あまり調整業務はない。
- ②はい 病院の数も多く利用者も病院を洗濯している。地方部ではそういうことはないが
- ③未記入 何とも言えない
- ④はい
- ⑤はい 問題なく行えると思う
- ⑥未記入 調整は特にしていない(要望もない)

8 最高気温が、他の地域に比べ、高い状況ですが、訓練内容、訓練中の配慮等、他のセンターと違う面がありますか。(はい いいえ)

コメント

- ①はい 夏の歩行訓練は頭がボーッとしてしまい、難しい(他のセンターと言っても塩原しか知らないが)。
- ②はい 真夏は続けて長い間訓練できない。早い段階でバス、電車を利用するレベルまで上げて総合的な訓練の中で対応している。
- ③未記入 他のセンターの比較は分からない。夏期は水分補給など訓練生の体調に気をつけている。多分地域差ではなくどこでも同しては?
- ④いいえ 特にないと思われる。
- ⑤いいえ 雨天時が年間通して少ない。
- ⑥いいえ 本人の体調に合わせる部分がある。

9 郵便局数が、リハセンター地域に次いで、多い状況ですが、障害をもつ方々の日常生活ひいては生活訓練内容に影響していますか。

(はい いいえ)

コメント

- ①いいえ
- ②いいえ 特にない
- ③未記入 何とも言えない
- ④いいえ
- ⑤いいえ 問題ないと思う
- ⑥いいえ 操作方法が電話方式である

- 1 0 身体障害者相談員数、身体障害者更生援護施設数か、全国平均より多く、他の地域に比べると、中間値ですが、センターの活動（支援）への影響がありますか。（ はい いいえ ）

コメント

- ①はい 入所相談で対象者のニーズにより、在宅訓練、他の施設での訓練に進めることか出来る。また、本センターの生訓終了後、現地での生活相談や訓練に結びつけやすい。
- ②はい 社会資源への活用が行いやすい。
- ③未記入 何とも言えない
- ④いいえ 視覚障害者の施設および視覚障害者を受け入れている施設はきわめて少ない。
- ⑤いいえ
- ⑥いいえ 特に感じていない

- 1 1 訪問介護員（ホームヘルパー）数か、全国平均より低く、他の地域に比べ、中間値ですが、貴地域でホームヘルパーを利用するのに、難しい状況が多いですか。（ はい いいえ ）

また、訓練内容等への影響はありますか。（ はい いいえ ）

コメント

- ①いいえ→いいえ 逆に良く対応してくれていると感じる。どちらかというところ、訓練生ないし家族の方が手続き（かめんどくさくて？）をしない印象がある。また長期の休学期間中、施設利用している者に帰省して在宅支援か受けられないという問題はある。
- ②いいえ、いいえ 特にない
- ③未記入 何とも言えない
- ④未記入 利用に関する調査データを見てないのでよく分からない。
- ⑤いいえ、いいえ
- ⑥いいえ、いいえ 特に感じてない

- 1 2 利用交通手段として、大部分（90.1%）が、1種類であり、自家用車が約半数（56.8%）となっています。他の地域と比べて、「徒歩だけ」が5.8%と少なく、2種類以上が13.8%と他の地域と比べて多い状況です。

徒歩以外の移動手段として、訓練するものの多いのは何ですか。また、その訓練上での特色がありますか。（はい いいえ）

コメント

- ①いいえ バス、電車
- ②はい 電車（特に私鉄）とハスの種類が多いため、訓練をしっかり行う。
- ③未記入 ハス、電車。阪神間に限れば東西移動の交通が発達し、電車、ハスの利用の機会が多いが、広域地域を想定するなら何とも言えない。
- ④未記入 訓練に従事していないので不明
- ⑤いいえ
- ⑥はい バス（低床式等）、JR、地下鉄、私鉄

歩行訓練での地域の特色はありますか。（はい いいえ）

コメント

- ①いいえ わりあい、標準的訓練と思う。（平地が多く近隣に都市部あり、田舎もある）
- ②未記入 駅の利用について時間をかけている。
- ③未記入 エスカレーターでは右側に立って空ける。
- ④未記入 訓練に従事していないので不明
- ⑤はい 交通の便が良く公共交通機関の利用が容易。ハリエーションにとんだフィールドがある。
- ⑥はい 総合的な訓練が容易である。

- 1 3 歩道の状況、信号機の設置状況、交通量等によって、特に留意している指導のポイントはありますか。 (はい いいえ)

コメント

- ①はい 近隣の信号機のある交差点では、信号無視の自動車がつっこんでくることが多いので、自動車の動きには特に注意している。大都市部の駅前では、信号が遠く発見しにくい。また、多くの歩行者・自動車が信号無視してわたってしまう場所があり、危険性と援助以来の必要性の認識および実践のために利用している箇所がある。
- ②はい 交通量が多いため、注意をしっかりとるように繰り返し訓練する。
- ③未記入 対象者や訓練地域にもよるが、信号機の制御方式や地域の道路網（地域におけるその道路の役割・利用形態）、交通量や右折レーンの有無、運転手の心理などを勘案して、その場所における横断動作の助言をする。
- ④未記入
- ⑤はい 道路横断を渡った先の角に溝が多く存在することが多い。
- ⑥はい 交通者への注意を徹底、車の右左折や急な飛び出しへの対応

- 1 4 神戸センターの地域特性を考慮した訓練等を実施している場合には、その内容を記入して下さい。

- ①神戸では、道路端野溝のふたをしていない箇所が多い（自動車の路肩駐車防止のため）。溝の伝い歩きが安全・確実に出来ると本人の自信が高まると思われる。（以前の言葉で言うと、）管轄地域が広く、出来るだけ現地での訓練も出来るように考える。また現地の状況に近い環境を見つけて訓練する。
- ②未記入
- ③エスカレーター、動く歩道は右（左に立つ場合は急く場合で歩かなくてはならない）。電車はドア横待機。援助依頼の助言。
- ④未記入
- ⑤閑静な住宅街、信号機のある交差点の活用、公共交通機関までの利用等が容易であり、プログラム作成に関して不便な点はない。
- ⑥未記入